

物流センター長のための現場力活性化の実務 ～知識の習得から演習による実践・定着まで～

経営戦略の一翼を担う物流センターを効率的に管理・運営する物流センター長に最も必要な能力として「Q(品質)・C(コスト)D(納期、スピード)の改革・改善能力」が求められております。

当研修では、第一線の作業に従事する物流センター長が解決すべき問題を発見し、改善していく現場力活性化のための知識とマネジメント技術を具体的事例と演習を交えて解説いたします。

本研修の期待する効果として、次の3点を想定しています。

- ①センター長に必要な基礎知識および技術を幅広く習得する。
- ②習得した知識を事例や演習により追体験することにより、知識の確実な定着を図る。
- ③センターのメンバーに対し、自信を持って知識の伝承を行えるようにする。

特に、全体を通じて事例やミニ演習を多く取り入れておりますので、自社ですぐ活用できる実践的な知識、技術を習得頂けます。

関係各位の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

● 開催日時 平成30年9月11日(火)～12日(水) 10:00～17:00

● 会場 砂防会館別館「会議室」
東京都千代田区平河町2-7-5 Tel:03(3261)8386

● 講師 かみむら しかと
上村 聖氏 経営コンサルタント、城西大学経営学部教授

【プロフィール】

食品メーカー(生産管理、物流部門)、コンサルティング会社(戦略・マーケティング、生産・ロジスティクス部門)、物流事業者(コンサルティング部門)、ロジスティクスのコンサルティング会社を経て、上村コンサルティング事務所設立。2015年より現職。サプライチェーン改革から現場改善まで、ロジスティクス分野のコンサルティング経験多数。

● 講師 くぼた せいいち
久保田精一氏 合同会社サプライチェーン・ロジスティクス研究所 代表社員
城西大学経営学部非常勤講師、運行管理者(貨物)

【プロフィール】

国交省系独立行政法人、財務省所管シンクタンク、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会JLS総合研究所を経て 2016年より現職。
物流コストの算定・管理、ロジスティクスのKPI管理、そのほかロジスティクスとサプライチェーンに関わる調査・研究・コンサルティング活動を実施。

参加対象者

- ◎物流センター実務の基本的事項は理解し、現にこの分野の業務を担当され(含む、今後の予定者)、より深く理解をしようとする方
- ◎物流センター実務の実践的な内容の理解を目指されている方

「物流センター長のための現場力活性化の実務」プログラム

● 開催日時：平成30年9月11日(火)～12日(水) 10:00～17:00

I: 物流センター運営管理のポイント

1. 物流センター長の基礎知識

- (1)顧客満足と物流サービス
 - ・顧客とは
 - ・顧客満足とは
 - ・物流サービスとは
- (2)コンプライアンスとリスクマネジメント
 - ・法令遵守 - 物流業務に関する法令の種類とその特徴
 - ・環境対応 - 物流に関わる環境問題と法体系
 - ・BCP(事業継続計画)の基本 - マネジメント体制構築プロセス
 - ・リスクマネジメント - リスク対応の基本
 - ・自家倉庫の防火対策 - 事例を踏まえて

2. 物流センターの定量的管理方法

- (1)定量的管理とは
 - ・定量分析と定性分析の長所・短所、
 - ・物流現場で活用する管理項目
- (2)物流KPIと活用方法
 - ・物流KPIとは、
 - ・物流KPIの種類、
 - ・具体的な活用方法
- (3)物流コスト
 - ・物流コストの分類、
 - ・物流を管理するためのコスト算定方法
 - ・物流ABC - 従来の方式と物流ABCとの差異

3. 品質管理

- (1)QC手法
 - ・KJ法
 - ・QC7つ道具
 - ・センターでのQC活動推進方法
- (2)事故防止
 - ・物流現場で発生する事故の種類とその対策
 - ・ドライバーが行う荷役作業の事故防止
 - 荷役作業の安全対策ガイドラインについて
- (3)クレーム処理
 - ・クレーム処理のポイント、
 - ・クレーム対応事例

4. 労務管理

- (1)物流現場の労働環境と人手不足対策
- (2)パート管理
 - ・パートとは
 - ・関連法令と諸制度
 - ・採用
 - ・管理のポイント - グループ制、多能工化、評価制度
- (3)外国人雇用に関わる規制
 - ・外国人雇用に関わる法制度等の概要
 - ・外国人雇用の実務上での留意点
- (4)労働者派遣法 - 改正により課される事項のポイント
- (5)協力会社管理
 - ・物流協力会社を有効活用するための管理のポイント

5. マテハン機器の有効活用

- (1)マテハン機器の種類と概要
- (2)出荷作業フローとマテハン機器の利用パターン
- (3)各種マテハン機器の選定と導入方法

II: 物流センター改善手法の習得

1. 物流センター改善の進め方

- (1)問題発見のアプローチ
- (2)なぜ改善が必要なのか
- (3)改善活動推進のポイント

2. 改善のための現状把握手法

- (1)物流ネットワーク図
- (2)物流リードタイム分析
- (3)工程分析
 - ミニ演習 - 起床から外出まで、物流センターの入荷～出荷
- (4)動線分析
- (5)稼働分析(ワークサンプリング)
 - ミニ演習 - 研修講師の作業、ある物流センターの稼働状況(写真を見て)
- (6)作業分析

参加申込要項

参加費

会員区分	参加費(1名)
一般社団法人日本物流団体連合会 会員	59,400円
一般	64,800円

(注)資料代、消費税含む。昼食費含まず。

定員 40名 (※最少催行人数 15名)

参加費支払い方法

- 請求書が届き次第、指定銀行の口座にお振り込みください。銀行振り込みの場合、銀行振り込み手数料は貴社にてご負担をお願いいたします。
- 参加予定の方のご都合がわるい場合は、代理の方がご出席ください。代理の方のご出席も不可能の場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので、ご承知ください。

【キャンセル規定】

- 開催7日前から2日前……参加費(消費税を除く)の30%
- 開催前日及び当日……参加費(消費税を除く)の全額

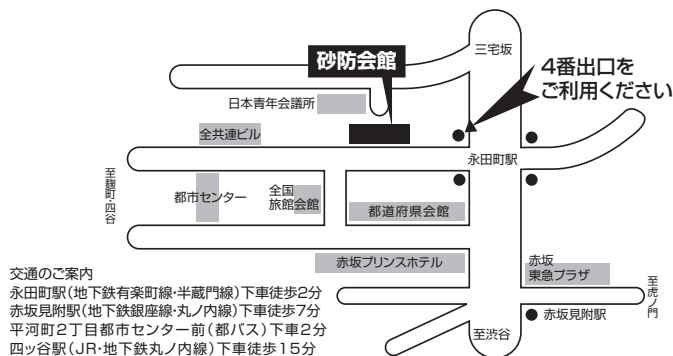
参加申込方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX (東京03-3593-0138) または郵送にて、上記あてご送付ください。折り返し、参加者へ参加証・請求書をお送りします。※物流ホームページからもお申込みいただけます。

会場案内

砂防会館 別館「会議室」

東京都千代田区平河町2-7-5 TEL:03(3261)8386



物流センター長のための現場力活性化の実務「参加申込書」

下記の通り、お申込みいたします。

会社名		TEL	
所在地 〒			
参加費 請求部署 責任者名		E-mail	
所 属 名 役 職		会員区分	一般社団法人日本物流団体連合会 会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/>
参 加 者	氏 名	TEL	
	所属・役職	E-mail	
	氏 名	TEL	
	所属・役職	E-mail	
	氏 名	TEL	
	所属・役職	E-mail	
	氏 名	TEL	
	所属・役職	E-mail	

※本参加申込書によって収集された個人情報には、必要なセキュリティ対策を講じて管理し、第三者に提供することはありません。

※お申し込みまたは参加いただいた方には、受講者名簿及び当連合会が主催する各種催等のご案内を送らせていただくことがありますので、あらかじめご了承下さい。但し、ご要請があれば、すみやかに中止いたします。

■参加申込先 **一般社団法人日本物流団体連合会**
物流情報センター

東京都千代田区霞が関3丁目3番3号 全日通霞が関ビル5階
 TEL 03-3593-0139(代) FAX 03-3593-0138
<http://www.butsuryu.or.jp/>



一般社団法人 日本物流団体連合会

100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-3 全日通霞が関ビル

TEL:03-3593-0139、FAX:03-3593-0138